

令和 8 年度  
当初予算要求概要

令和 7 年 12 月  
環境エネルギー部



# 令和8年度 環境エネルギー部 施策体系

## ■ 持続可能な社会をけん引する人づくりと県民総ぐるみによる運動の展開

- 環境問題を「自分ごと」として捉えるための意識改革・行動変容の促進、県民総ぐるみによる運動の展開
- 担い手の発掘・育成と活躍できる環境づくり
- 環境学習機会の充実
- 学校・家庭・地域等とのパートナーシップの充実・強化

## ■ 気候変動対策による環境と成長の好循環（グリーン成長）の実現

- 気候変動対策の緩和策の推進  
(温室効果ガスの排出削減対策と吸収源対策)
- 気候変動の影響への適応策の推進
- 成長戦略としての環境の取組みの推進

## ■ 再生可能エネルギーの導入拡大による地域の活性化

- 大規模事業の県内展開促進
- 再エネの地産地消の推進
- 地球温暖化対策としての再エネの導入拡大・利用促進
- 地域資源活用による経済循環及び地域課題の解決
- 災害対応力（レジリエンス）の強化
- 自然環境や歴史・文化等との調和を図った再エネの導入促進

## ■ 3Rの推進による循環型社会の構築

- 資源循環型社会システムの形成
- 資源の循環を担う産業の振興
- 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減

## ■生物多様性を守り、活かす自然共生社会の構築

- 生物多様性の保全
- 自然環境との共生
- 環境資産の活用・継承

## ■良好な大気・水環境の確保と次世代への継承

- 大気環境の保全
- 水環境・水資源の保全・活用
- 土壌環境・地盤環境の保全
- 化学物質の環境リスクの低減
- 公害被害等の防止と解決

# 令和8年度当初予算 主な要求事業等一覧

部局名：環境エネルギー部

## 1 主な要求事業

### 【施策の柱1】持続可能な社会をけん引する人づくりと県民総ぐるみによる運動の展開

(単位：百万円)

番号	担当課	事業名	令和8年度 当初要求額	新規	事業概要
1	環境企画課	環境教育推進事業費	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境アドバイザー等による環境学習機会の提供</li> <li>・環境の保全・創造に係る顕彰の実施</li> <li>・環境学習支援団体の認定及び交流会の開催</li> </ul>
2	環境企画課 (カーボンニュートラル・ GX戦略室)	カーボンニュートラル県民アクション推進事業費	204	○ 一部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民のCO<sub>2</sub>排出量の見える化と脱炭素型ライフスタイルへの行動変容を促すプロモーションの実施【新規】</li> <li>・県民向けの高断熱・高気密住宅や再エネ設備導入に対する補助</li> <li>・「やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会」の開催</li> <li>・金融機関と連携した県内企業向け脱炭素経営塾等の開催</li> </ul>
3	環境企画課 (カーボンニュートラル・ GX戦略室)	山形県民CO <sub>2</sub> 削減価値創出事業費	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭及び事業所における再エネ設備導入によるCO<sub>2</sub>削減価値の「見える化」</li> <li>・「やまがたカーボンニュートラル大使」による実践活動・情報発信や「若者向けワークショップ」開催を通じた環境人材の育成</li> <li>・学生環境ボランティア人材の育成及び活用</li> <li>・小学生向け学習教材の作成</li> </ul>
4	循環型社会 推進課	海岸漂着物対策 推進事業費	30		<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛島を舞台とした環境教育事業の実施及び漂着物の回収</li> <li>・学生ボランティア等による漂着物の回収を通じた発生抑制の啓発</li> <li>・漂着物に係る組成調査の実施</li> <li>・海岸清掃ボランティアの人材育成</li> </ul>
5	みどり自然 課	みどりの循環県 民活動推進事業 費	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・森づくりの大切さへの理解を深める「やまがた森の感謝祭」等の各種イベントの開催</li> <li>・県民みんなで支える森づくりの機運を一層高める情報発信や普及啓発の実施</li> </ul>

## 【施策の柱2】気候変動対策による環境と成長の好循環（グリーン成長）の実現

(単位：百万円)

番号	担当課	事業名	令和8年度 当初要求額	新規	事業概要
6	環境企画課 (カーボンニュートラル・ GX戦略室)	水素利活用推進 事業費	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水素エネルギーの普及啓発</li> <li>・水素エネルギーの利活用に関する実証事業に対する補助</li> <li>・水素ステーションの導入可能性調査に対する補助</li> </ul>
2 (再掲)	環境企画課 (カーボンニュートラル・ GX戦略室)	カーボンニュー トラン県民アク ション推進事業 費	204	○ 一部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民のCO<sub>2</sub>排出量の見える化と脱炭素型ライ フスタイルへの行動変容を促すプロモーション の実施【新規】</li> <li>・県民向けの高断熱・高気密住宅や再エネ設備導 入に対する補助</li> <li>・「やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会」の開催</li> <li>・金融機関と連携した県内企業向け脱炭素経営塾 等の開催</li> </ul>
3 (再掲)	環境企画課 (カーボンニュートラル・ GX戦略室)	山形県民CO <sub>2</sub> 削減価値創出事 業費	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭及び事業所における再エネ設備導入による CO<sub>2</sub>削減価値の「見える化」</li> <li>・「やまがたカーボンニュートラル大使」による 実践活動・情報発信や「若者向けワークショッ プ」開催を通じた環境人材の育成</li> <li>・学生環境ボランティア人材の育成及び活用</li> <li>・小学生向け学習教材の作成</li> </ul>
7	環境企画課 (カーボンニュートラル・ GX戦略室)	気候変動対策推 進体制整備事業 費	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化防止対策コーディネーターの設置</li> <li>・気候変動適応センターの運営</li> </ul>

## 【施策の柱3】再生可能エネルギーの導入拡大による地域の活性化

(単位：百万円)

番号	担当課	事業名	令和8年度 当初要求額	新規	事業概要
6 (再掲)	環境企画課 (カーボンニュートラル・ GX戦略室)	水素利活用推進 事業費	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水素エネルギーの普及啓発</li> <li>・水素エネルギーの利活用に関する実証事業に対する補助</li> <li>・水素ステーションの導入可能性調査に対する補助</li> </ul>
8	エネルギー 政策推進課	洋上風力発電推 進事業費	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊佐町沖における洋上風力発電と地域との共存 共栄に向けた選定事業者と地元関係者との調整</li> <li>・酒田市沖における法定協議会の調整</li> </ul>
9	エネルギー 政策推進課	遊佐町沖洋上風 力発電を契機と した地域活性化 事業費	2	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊佐町沖洋上風力発電を起点とした関連産業の 振興、交流人口の拡大等の地域活性化のための 機運醸成や担い手育成のセミナー等の開催</li> </ul>
10	エネルギー 政策推進課	再生可能エネル ギー等設備導入 促進事業費	95		<ul style="list-style-type: none"> <li>・再エネの地産地消を目的とした家庭・事業所に おける再エネ設備の導入に対する補助</li> </ul>
11	エネルギー 政策推進課	地域エネルギー マネジメントシ ステム構築支援 事業費	8	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーの固定価格買取制度の適用 期限を迎えた後の発電事業の継続等の意向調査</li> <li>・PPAモデルの周知・普及啓発のためのセミ ナーの開催及び相談窓口の設置</li> </ul>

(単位：百万円)

番号	担当課	事業名	令和8年度 当初要求額	新規	事業概要
12	エネルギー政策推進課	地域共生型再エネスタートアップ事業費	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が行う小水力発電の事業可能性調査に対する補助</li> <li>地域が主体的に再エネ導入を検討できる体制の整備</li> </ul>
13	エネルギー政策推進課	熱の面的利用可能性調査事業費	5	○ 一部	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の地域特性や熱需要を踏まえた熱の面的利用モデルの事業可能性調査【新規】</li> <li>熱の面的利用モデルの事業化及び普及啓発に向けた方策の検討</li> </ul>

**【施策の柱4】3Rの推進による循環型社会の構築**

(単位：百万円)

番号	担当課	事業名	令和8年度 当初要求額	新規	事業概要
14	循環型社会推進課	循環型社会形成推進事業費	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>「ごみゼロやまがた県民運動」の展開</li> <li>「もったいない山形協力店」おいしい食べきりキャンペーンの実施</li> <li>フードドライブの普及促進</li> <li>プラスチックごみ削減に向けたマイボトルの利用促進</li> </ul>
15	循環型社会推進課	地球にやさしい3R推進人づくり事業費	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>「やまがた環境展」の開催</li> </ul>
16	循環型社会推進課	循環型産業創出育成・基盤整備事業費	86	○ 一部	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間における3Rの研究開発及び事業化調査に対する補助</li> <li>廃棄物の排出抑制及びリサイクル推進のための施設・設備整備に対する補助</li> <li>循環経済への移行に向けたセミナー・ワークショップの開催【新規】</li> <li>次世代の循環型産業を担う人材の確保【新規】</li> </ul>
17	循環型社会推進課	循環型産業販路拡大推進事業費	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル製品の認定及びリサイクルシステムの認証</li> <li>リサイクル認定製品展示会の開催</li> </ul>
18	循環型社会推進課	災害廃棄物処理対策事業費	7	○ 一部	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害廃棄物仮置場設置訓練の実施</li> <li>大規模災害事例を踏まえた県災害廃棄物処理計画の見直し【新規】</li> </ul>
4 (再掲)	循環型社会推進課	海岸漂着物対策推進事業費	30		<ul style="list-style-type: none"> <li>飛島を舞台とした環境教育事業の実施及び漂着物の回収</li> <li>学生ボランティア等による漂着物の回収を通じた発生抑制の啓発</li> <li>漂着物に係る組成調査の実施</li> <li>海岸清掃ボランティアの人材育成</li> </ul>

## 【施策の柱5】生物多様性を守り、活かす自然共生社会の構築

(単位：百万円)

番号	担当課	事業名	令和8年度 当初要求額	新規	事業概要
19	みどり自然課	持続可能な捕獲体制等整備事業費	116		<ul style="list-style-type: none"> <li>行政と住民の間に立ち、現場で広域的・専門的な対策にあたる中間支援組織の設置準備</li> <li>緊急銃猟の訓練等に対する市町村への支援</li> <li>クマの市街地出没を予防するための河川の藪の刈払い</li> <li>地域主体で実施する藪の刈払いや不要果樹の伐採への支援</li> <li>市町村や学校等への専門家派遣</li> </ul>
20	みどり自然課	野生鳥獣個体群管理事業費	71		<ul style="list-style-type: none"> <li>将来にわたるイノシシ被害抑制のための捕獲強化</li> <li>ニホンジカのわなを用いた捕獲実証</li> <li>ツキノワグマの春季捕獲の実施</li> </ul>
21	みどり自然課	鳥獣モニタリング等事業費	35	○一部	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツキノワグマ、イノシシ、ニホンジカ等に係る生息状況調査の実施</li> <li>A I カメラによるツキノワグマの侵入経路把握のための実証及び試験捕獲の実施【新規】</li> <li>ツキノワグマの目撃情報収集公開システムの整備・運用【新規】</li> </ul>
22	みどり自然課	野生鳥獣保護事業費	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>麻醉銃取扱者による野生鳥獣の放獣の実施</li> <li>野生イノシシの豚熱感染状況調査の実施</li> <li>豚熱防疫対策物品の購入支援</li> <li>死亡野鳥に係る調査・検体回収・検査の実施</li> </ul>
23	みどり自然課	みどり豊かな森林環境づくり推進事業費	116		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民や市町村、N P O 等がそれぞれの地域課題に沿って取り組む森づくり活動等への支援</li> </ul>
24	みどり自然課	山形の山魅力満点（マウンテン）プロジェクト事業費	42		<ul style="list-style-type: none"> <li>オオシラビソ林の再生活動拡大に向けた計画策定</li> <li>ふるさと納税の募集と活用</li> <li>デジタル技術活用等による「やまがた百名山」の魅力発信及び利用拡大</li> <li>山岳環境保全体験ツアーの開催</li> </ul>
25	みどり自然課	自然環境整備事業費	65		<ul style="list-style-type: none"> <li>自然公園施設の整備・維持管理</li> <li>地元山岳会等との連携による登山道保全整備の実地研修</li> </ul>

## 【施策の柱6】良好な大気・水環境の確保と次世代への継承

(単位：百万円)

番号	担当課	事業名	令和8年度 当初要求額	新規	事業概要
26	水大気環境課	浄化槽整備促進事業費	35		・ 単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換に対する補助
27	水大気環境課	水質汚濁防止対策事業費	27		・ 公共用水域及び地下水の水質汚濁状況のモニタリングの実施
28	水大気環境課	大気汚染防止対策事業費	52		・ PM2.5、光化学オキシダント等による大気汚染状況のモニタリングの実施

## 2 主な事務事業の見直し・改善等一覧

(単位：百万円)

番号	担当課	事業名	令和8年度 当初要求額	見直し・改善等の概要
1	環境企画課 (カーボンニュートラル・GX戦略室)	水素利活用推進事業費	12	水素ステーション整備に対する補助について、現時点では水素ステーション整備の見通しが立っていない状況を踏まえ、具体的な案件に応じて予算要求を行うよう見直しを行ったもの 〔削減見込額 63百万円〕



## 山形県版クマ被害対策パッケージ（主なもの）

対策区分	事業
<b>【知る】</b> ◆鳥獣の生息状況や被害の実態を把握するための調査・情報収集	<p>① 新たなモニタリング手法の検討（山大と連携） <b>[R7～R9]</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生息状況や被害の実態を把握し、効果的な対策の実施につなげる <b>[10百万円]</b></li></ul> <p>② 出没情報の即時把握・県民への注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アプリを活用し、市町村と連携して、出没情報を速やかに発信 <b>[1百万円]</b></li><li>・AIカメラを利用した、クマ侵入経路把握のための実証事業 <b>[11百万円]</b></li><li>・SNSを活用した情報発信の強化（多言語含む）</li></ul>
<b>【守る】</b> ◆人の日常生活圏への侵入防止	<p>③ 人とクマのすみ分けの推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・県管理河川の藪の刈払い <b>[50百万円]</b></li><li>・地域が主体となって取り組む環境整備への支援（藪の刈払い・不要果樹伐採） <b>[16百万円]</b></li><li>・広葉樹の病害虫被害防除による生息環境の保全 <b>[1百万円]</b></li></ul> <p>④ 専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域での出没対策に加え、学校・保育園、観光協会等も対象に専門家を派遣・研修会の実施 <b>[8百万円]</b></li></ul> <p>⑤ 農作物の被害防止に関する支援</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・電気柵等の設置、ICTわな等の購入 <b>[176百万円の一部]</b></li></ul>
<b>【捕る】</b> ◆鳥獣の個体数を適正に管理するため、過剰な個体を捕獲し、被害を軽減	<p>⑥ 市街地出没対応</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・鳥獣被害対策実施隊（猟友会、市町村職員）等の装備品等（クマ用ヘルメット等）の購入・訓練経費の支援 <b>[15百万円]</b></li><li>・ドローンによる探索力の向上（操縦士育成・捜索支援委託） <b>[2百万円]</b></li></ul> <p>⑦ 春季捕獲の強化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・個体数削減や若手ハンター育成のための春季捕獲を強化 <b>[13百万円]</b></li></ul> <p>⑧ 麻酔銃取扱者の配置</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市街地出没時の活用増加が見込まれたため、依頼先を1人から3人へ増加 <b>[3百万円]</b></li></ul> <p>⑨ 捕獲者（猟友会会員）への支援の検討</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・捕獲等に必要な経費への支援について、市町村と調整し、検討 <b>[15百万円]</b></li></ul>
<b>【体制】</b> ◆機動的・広域的に実働できる持続可能な被害防除体制の整備	<p>⑩ 中間支援組織の設置の検討（R9.4設置を想定）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市町村と連携した中間支援組織設立の検討 <b>[12百万円]</b></li><li>・併せてガバメントハンターの確保・育成などについても議論</li></ul>